

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊万里市	代表者名	深浦 弘信
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0955-23-4313
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 隆太
住所	848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	デジタル化、DXの動向や最新事例を部門ごとに整理し、説明をいただいたこと。地元のケーブルテレビの取材もあったため、一部意識した内容(市民への周知を想定)としてもらったこと。新年度の本格的な事業の推進に向け、庁内調整や各担当の具体的な意識づけを行うことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月3日	12時45分	14時45分		120
3-2. 派遣場所	会場名	伊万里市役所		最寄駅	JR伊万里駅
	所在地	佐賀県伊万里市立花町1355-1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	7人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	各担当部署ごとの、具体的な事業推進イメージの確立と、具体的な事業案について	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	各担当部署ごとに、具体的な事業の推進方法がイメージでき、新年度にすぐ動き出すことができる。それぞれで具体的な事業案を持ち、新年度すぐに事業化について検討に入ることができる。	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	令和3年度に事業案を確立させ、事業化の目途がつきそうなものについては令和3年度中にも対応ができるようにするため、事例案を含め支援を受けた。まず、できることを進めながら、同時に本市独自の課題に対応するために協議も進めていくことや、一般的なデジタル化の先にあるものについて大きな視点を持つことなどについて説明された。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	アドバイザーの助言により、実現可能性の詳細な協議は今後行うとして、各担当部署ごとに現時点で考えられる事業案の提案を受けることができた。具体的な事業例の説明や、事業内容の検討に際しての考え方などの説明を受けることで、それぞれの担当部署もよりDXの推進に対し具体的なイメージを持つことができた。	
	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	具体的な推進計画の策定には至ることができなかったため、今後持ち越しとなった。(当初より、このアドバイザー事業で完成させる想定ではなく、できれば行おうと考えていたもの)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 対象が限られており、支援の有効性はそれぞれから確認できているため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市のDX推進方針、目標等の制定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

